

令和6年度下赤塚おとしより相談センター 事業計画書

1 組織・運営体制等

○組織・運営体制における課題及び解決に向けた計画 ※箇条書きとし、簡潔に記載※

課 題	解決に向けた取り組み・計画
・予防マネジメントと総合相談の個別ニーズが高くなり、多問題ケースも増えている。職員の業務負担、精神的な負担が大きいことが課題。	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用・法人内異動で適正な人員確保を行う。 ・新規採用者の研修・指導の内容の見直しを行う。 ・担当職員一人で抱え込まない業務体制を作り、精神的負担の軽減を図る。

(1) 組織・運営体制

○重点事業・目標の設定

目 標	※把握した担当圏域の現状やニーズに基づき設定 高齢者世帯あるいは高齢者独居が多い地域であるが、近年災害級の異常な天候が続いている為、地域の関係機関と連携し、地域の見守り体制を強化する。	
重点事業 実現可能な範囲であれば複数チェック可 ※()内は具体的な方針を簡潔に記載	<input checked="" type="checkbox"/> 総合相談支援事業 <input type="checkbox"/> 権利擁護事業 <input checked="" type="checkbox"/> 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業 <input type="checkbox"/> 地域ケア会議推進事業 <input type="checkbox"/> 在宅医療・介護連携推進事業 <input type="checkbox"/> 生活支援体制整備事業 <input type="checkbox"/> 認知症総合支援事業 <input type="checkbox"/> 介護予防・生活支援サービス事業 <input type="checkbox"/> 一般介護予防事業	(業務持続計画の整備と 民生児童委員と見守り体制・連携強化。) () (主任介護支援専門員との連携強化、災害時の協働の推進。) () () () () () ()

○研修計画 ※個人情報保護措置の研修については必須記載※ (おとしより保健福祉センターが実施・申し込み受付した研修を除く)

会議名	主催	開催回数（開催時期）	内容	備考
個人情報保護措置研修	包括主催	年２回（７月・８月頃）	個人情報保護措置に係る研修	
権利擁護事業研修	法人主催	年２回～３回	その他（備考に記載）	虐待研修
認知症関連研修	外部主催	年２回～３回	その他（備考に記載）	認知症支援スキルアップ

○センターの周知計画及び夜間・早朝や休日等の緊急時における連絡体制

センター周知計画	<input checked="" type="checkbox"/> チラシなどの配布 <input checked="" type="checkbox"/> 出前講座などの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> SNS・HPなどの活用 <input type="checkbox"/> その他（ ）
緊急時における連絡体制 (センター内)	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急時の連絡網の策定 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 職員間のラインワークスの活用 ）
緊急時における連絡先・窓口の周知方法 (住民向け)	<input checked="" type="checkbox"/> 自動再生アナウンスによる緊急連絡先の案内 <input type="checkbox"/> 輪番制による携帯電話への転送 <input type="checkbox"/> 留守番電話の録音案件への折り返し対応 <input type="checkbox"/> 併設施設への電話転送による対応 <input type="checkbox"/> その他（ ）

(2) 利用者満足度の向上

○苦情対応体制の整備

Q. 苦情対応体制を整備し、苦情内容や苦情への対応策について記録しているか。

- ☒ 記録している (➡ 記録の管理方法: 地域包括支援センター独自のサーバーにて記録を保管し、1 時間ごとにバックアップ。)
- ☐ 記録していない

○プライバシー確保のための環境整備

- ☒ 個人情報の取り扱いについて区の契約・法人の規定などにに基づき対応している。
☒ 相談スペースの確保を行い、相談しやすい環境を整備している。
☒ PC 端末の画面が関係者以外に見えないよう配置への配慮を行っている。
☐ その他（ ）

2 個別業務

(1) 包括的支援事業

① 総合相談支援事業

○総合相談支援事業における課題及び解決に向けた計画 ※課題については箇条書きとし、簡潔に記載※

課 題	解決に向けた取り組み・計画
・相談内容の多様化に伴い、相談員の対応能力を向上する必要がある。	・適切なトリアージの為の研修の実施。 ・相談内容により連携する関係機関の整備と周知。

○地域包括支援ネットワーク構築・実態把握

会議体	開催回数（開催時期）	内容（複数チェック可）	備考
地区町会長会議 （又は地域情報連絡会）	年 1 回	<input checked="" type="checkbox"/> 挨拶 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の周知等 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 連携依頼 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
地区別連絡会	年 2 回（7 月・2 月）	<input type="checkbox"/> 挨拶 <input type="checkbox"/> 事業の周知等 <input checked="" type="checkbox"/> 情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 連携依頼 <input type="checkbox"/> 交流会 <input checked="" type="checkbox"/> 事例検討会 <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 講演 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
相談協力員連絡会	年 1 回	<input checked="" type="checkbox"/> 挨拶 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の周知等 <input checked="" type="checkbox"/> 情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 連携依頼 <input type="checkbox"/> 交流会 <input type="checkbox"/> 事例検討会 <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input checked="" type="checkbox"/> 講演 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
地区民生・児童委員協議会	月 1 回	<input checked="" type="checkbox"/> 挨拶 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の周知等 <input checked="" type="checkbox"/> 情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 連携依頼 <input type="checkbox"/> その他（ ）	

出前講座等	2回～3回(5月・7月頃)	<input checked="" type="checkbox"/> 挨拶 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の周知等 <input checked="" type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 連携依頼	(開催先団体名) ゆりの木サロン
	1回(8月頃)	<input checked="" type="checkbox"/> 講演 <input type="checkbox"/> その他()	(開催先団体名) くじらハウス

○地域における関係機関・関係者のネットワークの管理

把握情報	<input checked="" type="checkbox"/> 介護サービス事業者 <input checked="" type="checkbox"/> 医療機関 <input checked="" type="checkbox"/> 民生委員 <input checked="" type="checkbox"/> その他(保険外生活支援団体)
管理方法	<input type="checkbox"/> マップ(紙) <input type="checkbox"/> マップ(データ) <input checked="" type="checkbox"/> リスト(紙) <input checked="" type="checkbox"/> リスト(データ) <input type="checkbox"/> その他()
地域特性の把握内容	<ul style="list-style-type: none"> ・赤塚地区の主任介護支援専門員、社会福祉士が定期的集まることで地域課題を抽出して把握する。 ・年2回の地区別連絡会にて福祉事務所・健康福祉センターからも地域の情報を確認する。 ・UR賃貸住宅の生活アドバイザーと、常時情報が把握できる連携体制を構築して高齢者の孤立を防ぐ。 ・古い住宅街で高齢者世帯や独居世帯が多いことから、町会や民生・児童委員から認知症についての知識を深めたいとの要望が増えている。見守り強化や出前講座、認知症サポーター養成講座に繋げていく。

○高齢者見守り事業

	登録者の状況把握目標	把握方法	相談協力員との連携方法・時期等
ひとりぐらし高齢者 見守り対象者名簿	(新規) 100%	訪問により確認	災害時に備え、見守り体制について共同で研修の開催や話し合いの機会を作り、具体的な連携体制を構築する。
	(新規以外) 100%	電話・担当介護支援専門員からの聞き取り・訪問により確認。	
高齢者見守り キーホルダー	登録勧奨、普及・啓発方法		
	<div><input checked="" type="checkbox"/> 地域イベント参加 <input checked="" type="checkbox"/> シニアクラブ・サロン等の訪問 <input checked="" type="checkbox"/> 個別訪問時の情報提供 <input type="checkbox"/> パンフレット作製・配布</div> <div><input checked="" type="checkbox"/> センター主催事業実施時における広報 <input type="checkbox"/> センターだよりの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 民生委員や関係機関との連携</div> <div><input type="checkbox"/> その他（</div>		

② 権利擁護事業

○権利擁護事業における課題及び解決に向けた計画 ※課題については箇条書きとし、簡潔に記載※

課 題	解決に向けた取り組み・計画
・成年後見支援について職員全員が同じ対応能力を持つことが必要。	<ul style="list-style-type: none"> ・後見制度に関する研修・伝達研修の開催。 ・認知症の方の意思決定ガイドラインの研修を行う。

○権利擁護事業における実施事業等

会議名	会議種別	開催回数（開催時期）	内容	備考
成年後見制度について学ぶ	成年後見制度利用支援	1 回（9 月頃）	主催（研修会）	
特殊詐欺の実情	消費者被害・特殊詐欺等の防 止・対応	1 回	主催（講演会）	警察に依頼
虐待についての勉強会	虐待防止・対応	2 回	その他（備考に記載）	法人研修

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

○包括的・継続的ケアマネジメントにおける課題及び解決に向けた計画 ※課題については箇条書きとし、簡潔に記載※

課 題	解決に向けた取り組み・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員によって知識や経験に差がある。 ・職種間の理解が十分でない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の主任介護支援専門員が主体となって勉強会や交流会を行う。 ・多職種で顔の見える連携づくりを行う。

○事業者交流会等（包括的・継続的ケアマネジメント支援における会議や研修）の開催計画

会議名	方法	開催回数（開催時期）	テーマ・内容	参加対象	備考
赤塚地区主任介護支援専門員交流会	打ち合わせ会	3 か月に 1 回	未定	主任介護支援専門員	
下赤塚地区介護支援専門員交流会	事例検討会	年 1 回	未定	介護支援専門員	
下赤塚地区介護支援専門員交流会	研修	年 2 回	未定	介護支援専門員	
気づきのスーパービジョン勉強会	研修	年 3 回	未定	介護支援専門員	
赤塚地区事業者交流会	交流会	年 1 回	未定	多職種	

④ 地域ケア会議推進事業

○地域ケア会議の実施における課題及び解決に向けた計画 ※課題については箇条書きとし、簡潔に記載※

課 題	解決に向けた取り組み・計画
・家族にも問題を抱え、孤立している世帯が増えている。	・ネットワークづくりをし、情報共有や地域課題の検討をして連携を行う。

○実施する地域ケア会議

会議名	開催回数（開催時期）	テーマ	備考
ケアマネジメント支援型地域ケア個別会議（小地域ケア会議）	1 回（10 月）	精神疾患、認知症、権利擁護、8050 問題、居場所づくりなど	
日常生活圏域レベル地域ケア推進会議（地区ネットワーク会議）	1 回（1 月）	精神疾患、認知症、権利擁護、8050 問題、居場所づくりなど	

※地域ケア会議として位置付けられている「認知症初期集中支援チーム員会議」については、⑦認知症総合支援事業で記載。

⑤ 在宅医療・介護連携推進事業

○在宅医療・介護連携推進事業における課題及び解決に向けた計画 ※課題については箇条書きとし、簡潔に記載※

課 題	解決に向けた取り組み・計画
・地域のかかりつけ医（開業医）との連携に課題があり、服薬状況や必要な情報の共有の連携を強化していく必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・医療介護連携の集まりの場を持ち、顔の見える関係性を築く。 ・日頃より地域包括支援センターのチラシ等を配布し、地域包括支援センターの周知を行う。

○在宅医療・介護連携推進事業における実施会議等

会議名	開催回数（開催時期）	内容	備考（連携先）
相談員交流会	1 回（11 月）	主催（交流会）	病床を持つ病院の相談員
医療介護連携会議	1 回～2 回	主催（交流会）	赤塚地区合同開催

⑥ 生活支援体制整備事業

第2層協議体との 関わり方について	後方支援としてかわり、支え合い会議には毎回出席する。必要に応じて事業・講座のサポートや、包括による講座の実施等を行っていく。会議参加者や地域の人たちと連携して地域課題の把握や、地域でできることを検討して、包括としてできる支援を行っていく。
第2層協議体と専門職 との連携について	専門職が地域とつながり、力を発揮してもらうために、医療・介護等の専門職が地域住民とつながる機会が作れるよう様々な事業への参加を促していく。

⑦ 認知症総合支援事業

○認知症総合支援事業における課題及び解決に向けた計画 ※課題については箇条書きとし、簡潔に記載※

課 題	解決に向けた取り組み・計画
・孤立して生活している高齢者が多く、抱える課題が多様化してから認知症が問題になるケースがある。	<ul style="list-style-type: none"> ・民生・児童委員、地域住民からの情報提供と協働による早期発見・早期対応に努める。 ・医療機関や関係機関との連携強化を行う。 ・職員の対応能力向上の研修に参加する。

○認知症総合支援事業における実施事業・会議等

会議・事業名	会議・事業種別	開催回数（開催時期）	内容	備考
認知症サポーター養成講座	認知症サポーター養成講座	2回（8月）	主催（交流会）	
認知症の方を介護する家族会	認知症家族交流会支援	3～4回	参加事業における普及啓発	輪番で参加
認知症初期集中支援チーム員会議	認知症初期集中支援事業	6回（隔月）	その他（備考に記載）	事例検討
認知症カフェくじらハウス	認知症カフェ支援	3回～4回	その他（備考に記載）	地域交流・情報提供・ミニ講座開催

(2) 介護予防・日常生活支援総合事業

① 介護予防・生活支援サービス事業 ② 一般介護予防事業

○介護予防・日常生活支援総合事業における課題及び解決に向けた計画 ※課題については箇条書きとし、簡潔に記載※

課 題	解決に向けた取り組み・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・シニアクラブやサロン等との連携が限られたところとしかできていない。 ・介護予防サポーターの活躍の場をもっと作る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域内のシニアクラブやサロンと連携し、出前講座等により介護予防活動の支援を広めていく。 ・出前講座や測定会の企画を増やし、介護予防サポーターの活躍の場を増やす。

○介護予防・日常生活支援総合事業における実施事業等

会議・事業名	会議・事業種別	開催回数（開催時期）	内容	備考
下赤塚元気力測定会	介護予防把握事業	2回（随時）	その他（備考に記載）	測定会
介護予防講座	介護予防普及啓発事業	2回（随時）	主催（講演会）	
介護予防・プラス講座	地域リハビリテーション活動 支援への協力	1回	参加事業における普及啓発	